

平成18年度 第1回福岡市中央卸売市場開設運営協議会水産物部会議事録

- 1 開催日時 平成19年1月22日（月） 10:00～
- 2 開催場所 福岡市鮮魚市場会館 第1会議室（2階）
- 3 出席者 開設運営協議会会長・開設運営協議会水産物部会委員・専門委員16名
（別紙委員名簿参照）

欠席：田中委員（代理）

- 4 傍聴者 なし

- 5 会議内容

中央卸売市場開設運営協議会会長あいさつ，中央卸売市場長あいさつ，事務局から委員紹介を行った後，議事に入る。

議題1：部会長の選任について

（議長）議題1について事務局説明願います。

（事務局）選任方法について説明，部会長選任決定

（議長）事務局から一括して報告の旨説明。

報告事項1 「鮮魚市場再整備事業について」

報告事項2 「鮮魚市場震災復旧状況について」

－ 資料に沿って事務局が説明 －

その他質疑応答

委員 報告事項 1。3 ページの (3) の③について。対外的に市民の理解が得られないためと書いてあるが、具体的にはどういう意味か。

事務局 買荷積込所の工事については、2 億 6 千万円もの費用をかけて行っているものであるが、屋根設置工事をするということはただ屋根を置くというわけではなく、再び掘りかえすという、重複工事となるため、買荷積込所の工事の後にすぐ屋根設置工事をするとなれば、出来上がってすぐにまた工事をするということになり、そういう意味で理解が得られないのではないかということに記載している。

委員 実際に市民から聞いたわけではないのか。

事務局 聞いたわけではない。計画性がないと指摘されることが十分に予想される。

委員 現在、食の安心・安全とよく言われているが、言葉だけで実際消費者が納得するようなものがないので、そういうものがあると本当に安心である。

事務局 安全・安心については万全を期していきたい。
④に書いてあるように、現在屋根のある駐車場が約 100 台ある。その他に買荷積込所という形にはしていないが、卸売場の下も雨の日には利用しているので、あわせると約 200 台の駐車が可能。説明しているとおり、屋根をつけないというわけではなく、業界の方々十分に検討していきたいと考えている。

委員 卸売場というのは通常は駐車できないところ。ただ雨が降ったときにはやむなくとめているというもの。それが 100 台ほどあるということ。

委員 市場の現場はよく分からない。

事務局 図面で言うと、④西卸売場の南側に雨が降るとおいているという状況。

委員 40%が保冷車で屋根がある車。あとの60%は屋根がない車であるため雨が降ったら困るということ。